

## ＜平成 28 年度事業計画 自己評価(総括)＞

<b>1. 基本方針</b>	
第 29 回理事会にて「社会福祉法人湘北福祉会 中長期計画」が承認された。平成 28 年度をその 3 年目として位置づけ、中長期計画の実現を目指す。	
<b>2. 事業活動に対する基本的な姿勢</b>	
<b>1) 施設経営</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・中期目標として、平成 26 年度からの 3 年間は「実施事業の現状維持を原則」という方向性が確認された。今年度も当園施設運営の特徴である「地域の子育て拠点となる総合的な保育所運営」をさらに強化するために、園の理念に沿って、実践を行う。</li> </ul>	
<b>◆重点的に取り組む事業について</b>	
<b>(1) 保育の質の向上(子どもの最善の利益の保障のために)</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育アドバイザー秋田喜代美先生による年 3 回の職員研修。テーマを「育ちをつなげる環境」とし、特に<u>家庭とのつながりを工夫する。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○5 月 19 日、9 月 29 日、1 月 12 日の 3 回の研修をとおして、写真を活用した環境の工夫の学びを深めた。</li> <li>○今までの研修成果が「写真で語る保育の環境づくり」として書籍化された。希望する保護者に無償配付し、園の保育実践をご理解いただく糸口とした。</li> <li>○保護者の困り感をテーマに掲示を作るなど工夫した。</li> <li>△掲示を作成して終わりではなく、今後も掲示を通して「家庭とのつながり」が上手くいった事例等の検証を続けていく。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「あゆのこ保育園の保育」としてまとめた資料を全員で共有し、0 歳から 5 歳児の育ちのつながりを意識するとともに、加筆修正を行い、更なる内容の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○4 月度の職員研修では、0 歳から 5 歳児のつながりを全員で共有するため、各クラスチーフがプレゼンを行うと共に、クラス毎に「あゆのこ保育園の保育」の内容について、確認し、加筆修正を行った。</li> <li>○チーフ会では育ちのつながりを意識するためにプレストを行い、情報共有を行った。(4 月、6 月、7 月、9 月、10 月、1 月に実施。)</li> <li>△まだ、育ちのつながりの検討が不十分な内容がある。今後もクラス毎に、またチーフ会等で話し合いを継続し、理解を深めていく必要がある。</li> </ul>
<b>(2) 保護者支援</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス懇談会では、子ども達の育ちや保育のねらいとともに、子どもとの具体的な関わり方などを伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○年 2 回の懇談会では、保護者からの心配事や質問事項に答えるなど、子どもとの関わりのコツがより具体的に伝わる工夫をした。乳児クラスでは、保護者同士が悩みを話し合うなど、交流しながら学び合える工夫をした。</li> <li>△懇談会で伝えている内容や保護者の反応を他の保育士も確認できるよう、ビデオに撮るなど工夫をしたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別面談をより充実させるため、引き続き、保育士のより実践的な相談援助技術を磨く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○昨年度の研修で成果が認められたため、今年度も同様に 12 月の職員研修で、実際に保護者と面談することを想定した実践的な研修を行った。(中堅保育士対象研修)</li> <li>△相談援助の前提として、面談前の保護者との信頼関係の構築が大切であることを再度認識する必要がある。</li> </ul>

<b>(3) 食育の推進</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>給食業務を外部委託し、安定した給食を提供する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○外部委託が2年目を迎えた。毎月の給食会議等により、密接に連携を取ながら進めている。</li> <li>○給食会議等で双方からの意見を伝え合い、よい連携が取れている。</li> <li>△残菜量の多いメニュー等に関しては、保育側でもボードや写真を活用して現状を把握するなどしたが、更に給食室と連携が取れるようにする工夫が必要。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>外部業者の専門性を活かし、保育と連携を取ながら質の高い食育を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○クッキング体験など、クラス担任と相談しながらより積極的に進めている。</li> <li>△保育側でも食育計画の見直しが必要。クラス→各部→全体と、つなげて行かれるとよい。それを基に外部業者と連携が取れると良い。</li> </ul>
<b>(4) 安全管理</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの職員がより主体的に安全管理に対する意識を持つように工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○リスクマネジメント委員会のメンバーを入れ替え、職員がより主体的に安全管理に対する意識を持つことにつなげた。</li> <li>○緊急時の放送係を全員が体験できるよう計画したことで、一人一人が自主的に訓練に加わった。</li> <li>○安全点検巡回のポイントも見直し、さまざまな職員が体験できるように工夫した。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>門扉の開閉等、保護者の協力を仰ぐ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○クラス懇談会で再度声掛けをするなどして協力を仰いだ。</li> <li>○門扉の不具合が続いたため、部品の交換等修繕を行った。</li> </ul>
<b>(5) 地域の子育て支援</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>困り感のある親が「ほっと」できる場、安心して相談できる場をめざし、環境を含め見直しを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境の見直しを行い、利用者がほっとできる、相談しやすい環境整備を行った。</li> <li>○活動内容を見直し、ゆったりとした支援ができる体制確保に向けて工夫した。</li> <li>○「地域子育て支援担当者研修」を実施した。(6月、7月)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>一時預かり事業との連携を深め、地域の親子の相談窓口になるよう、地域に働きかける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一時預かり利用者で配慮が必要な親子等に対し、担当者が関わるなどして、必要な支援を行った。</li> <li>○配慮の必要な親子について、市と連絡を取ながら、専門機関等にも働きかけながら、きめ細かい支援を行った。</li> </ul>
<b>(6) 職員の質の向上</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>人事考課のしくみの検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中長期計画に基づき、新人事制度の検討を行った。</li> <li>○全員からのアンケートを基に専門職としての基盤としての「執務態度」の項目を選定し、「執務態度カレンダー」を作成した。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>新人の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○チューター制度を導入したことで、新人が安心して職場になじむことができた。</li> <li>△チューターの負担が重くならないように、名称や役割なども必要に応じて見直していく。</li> </ul>